

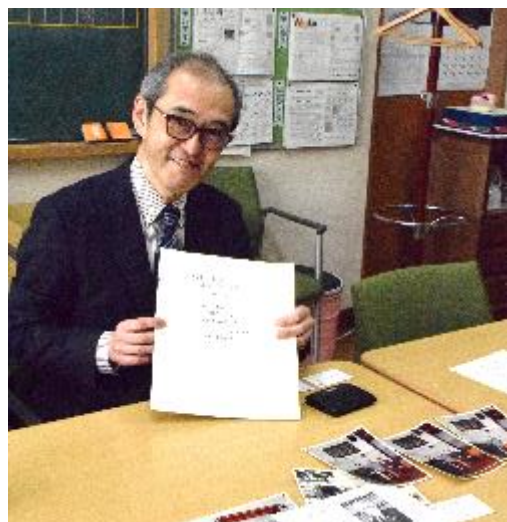
校歌にまつわるちょっとした話

「学校だより」別バージョン

二月のある日、突然お便りをいただきました。

差出人は、本校の校歌を作詞・作曲してくださった服部正先生のご長男です。服部先生が2008年(平成20年)に100歳で亡くなられた後、先生の直筆の楽譜等をゆかりのある所に寄贈する活動をなさっているのだそうです。

手にしていられるのは、今回寄贈を受けたマンドリンオーケストラによる高井戸第三小学校の校歌の楽譜です。ピアノ伴奏つきのオリジナル楽譜は、すでに服部先生の写真と一緒に校長室前の廊下に飾ってありますよね。



もともと服部先生は、慶応大学のマンドリンクラブに所属していられっただけでなく、その後、作曲をいろいろなさるようになりました。



さて、服部先生が作曲された曲の中で一番有名なのは、「ラジオ体操第一」ですよね。こちらの方も調べてみました。

もともとは逓信省簡易保険局が国民の健康増進等を目的として1928年(昭和3年)9月にラジオ体操を制定しました。それが第二次世界大戦で中止になった後、戦後1951年(昭和26年)に新ラジオ体操として制定されました。このときの曲が服部先生作曲のものでした。

ところで、高三小の校歌の歴史はどうなっていたでしょう。

明治34年創立以来、校歌らしいものはしばらくなかったようです。昭和に入り、11年美留町九郎という方が「高井戸第三応援歌」というものを作詞作曲されたそうです。昭和13年には同じ方が「高井戸第三行進曲」を作詞・作曲されています。今の校歌ができたのは昭和24年(1949年)6

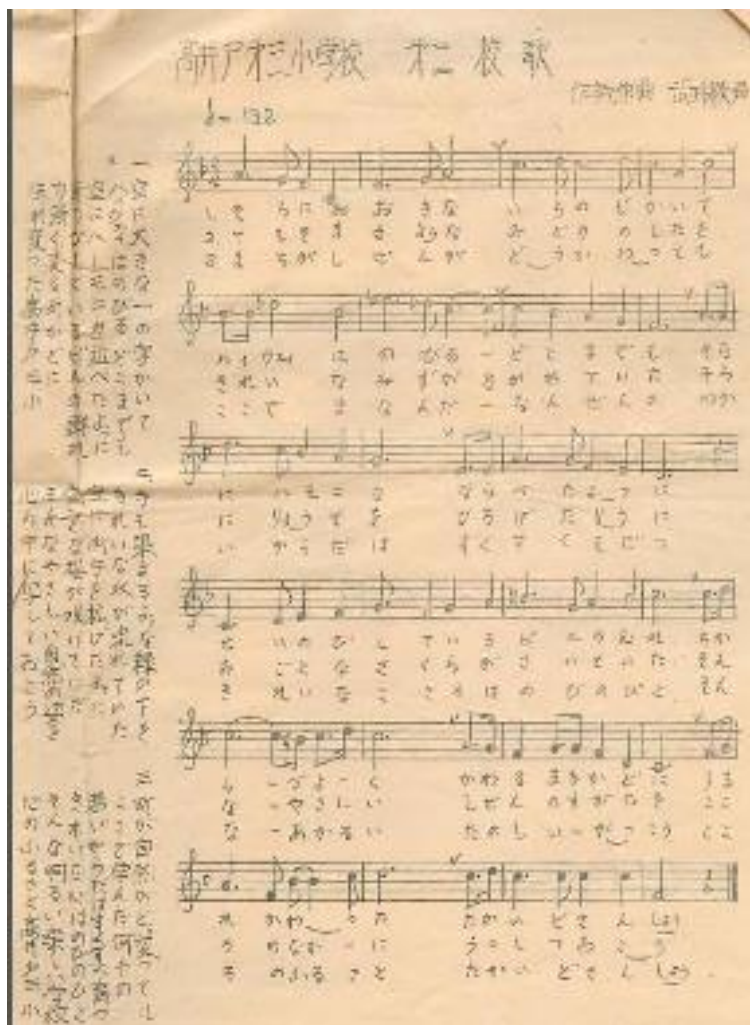


月 17 日です。ここで気づいた方がいたかもしれませんが、「ラジオ体操第一」よりも 2 年早いのです。創立 50 周年を迎えるにあたり、全校児童に謄写版 2 色刷りの初版効果が配布されたそうです。謄写版というのは昔のローラーでインクをつけながら印刷するやり方です。

本当は昭和 17 年に校歌をつくろうと当時の校長中島 讓先生が発案されたそうですが、戦時下のため、作曲までは至らなかったそうです。実は校歌には「第二校歌」なるものもあります。これは昭和 45 年創立 70 周年を記念して武井 敬声先生が作詞・作曲されたものです。今となってはどんなものなのかよくわからないのですが、歌詞は「高三歴史館」の中に、卒業制作で掘られたものが立てかけてあります。メロディは…どこかに楽譜があるのかな？

一時期はこの第二校歌の方を主流で歌っていたようです。卒業生の中にも歌える方が随分といるみたいです。参考までに 1 番の歌詞を。

空に大きな一の字書いて ハイウェイはのびる どこまでも
空にハーモニカ 並べたように 背伸びしている ビルの群れ
力強く変わる 町かどに 生まれ変わった 高井戸三小



その後校歌をもう一度元のものに戻して、現在に至るようです。第二校歌の方は、なんかピンときませんね。いかにも高度経済成長時代と思えるような歌詞です。と、でてくるものですねえ。インターネットで出てきました。